

切磋琢磨

久米島町立久米島西中学校
学校だより

第40号 令和3年3月11日

第14回 卒業式 終わる

卒業証書授与式、当日は生憎の天気でしたが体育館内は、張り詰めた空気の中、厳粛に式典は進んでいきました。卒業認定、卒業証書授与式辞や祝辞の後、送辞、答辞とあっという間に閉会の挨拶がありました。コロナ禍での式典でしたが心温まる時間でした。



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今日は、皆さんが義務教育9年間の全教育課程を終える晴れの日です。今、卒業証書を受け取り、3年間のさまざまな出来事が脳裏を駆け巡っていることと思います。楽しかったことはもちろん、苦しかったことや悔しかったことも含めて、そのすべてが、かけがえのない思い出となっていることでしょう。在学中に元号が「平成」から「令和」へ変わり、記憶に残る中学生生活を過ごしました。皆さんの3年間の中学校生活のなかで、私は2年間、共に過ごす縁に巡り会えました。逞しく成長する皆さんの姿を様々な場面で見ることが、私にとっての楽しみであり、大きな喜びでもありました。入学時から毎年くり返された行事、新入生歓迎球技大会、遠足、運動会、合唱コンクール、那覇地区中学校夏季総合体育大会、陸上競技大会、駅伝競走大会など、数え上げればきりがありません。コロナ禍の令和2年度は、中止になった行事や縮小・延期された行事が沢山ありました。

今年度は、我慢を強いられた厳しい1年でしたが、生徒会を中心に「生徒による生徒のための運動会」を

見事に創造してくれました。延期が続いて開催された、那覇地区中学校夏季総合体育大会や駅伝競走大会へは、自己開示と自己改革を徹底し、取り組んでいました。日常の自主的な清掃活動や挨拶運動など、現在の久米島西中学校の伝統を継承してくれたことに敬意を表します。皆さんの主体的な実行力が試された1年でしたが、それに見事に答えてくれました。皆さんのよい思い出として心に刻まれていることでしょう。心から感謝しています。久米島西中学校の歴史に新たな1ページを記し、今まさに旅立とうとしている皆さんに、2つ話をさせて下さい。

1つ目は、「人との出会いを大切にしたい」ということです。これから皆さんは、いろいろな人との出会いがあります。今の皆さんは、柔軟な感性で日々を過ごすことができます。その時期に自分とは異なる価値観を持つ人との出会いは、皆さんの人生に新しい風をもたらしてくれるし、皆さんの中に存在する素晴らしい素質が引き出される機会となります。そして、いろいろな出会いを通して、人と人との絆や支え合い、助け合いを学んで下さい。出会うことは必然です。その後どう振る舞えるかは、皆さん次第です。

2つ目は、「決して諦めず、チャレンジ精神を持つて欲しい」ということです。ノーベル物理学賞を受賞された、愛知県出身の中村修二教授は、会見で、ご自身の高等学校、大学の事に触れ、次のようにいわれました。「無名の県立高校から地方の大学を出た私が、ノーベル物理学賞を受賞することができました。地方の大学出身でも受賞できるということは、後に続く人のやる気に繋がったのではないだろうか。」中村教授の言葉は、それぞれの世界に歩み出す皆さんに、2つの事を伝えていると思います。1つは、「どこで勉強するかも大事だが、何を勉強するかがもっと大事なことである。」ということ。もう1つは、「自分の目標に向かって、決して諦めずやり通すこと。」だと思います。これから皆さんは、いろいろなことに挑戦していかねばなりません。全てがうまくいくとは限りません。失敗することもあるでしょう。しかし、失敗は失敗として反省し、原因を究明し、再挑戦して下さい。決して諦めない気持ちで、常に目標を掲げ、前へ進んで下さい。道は必ず拓けます。

現在、「新型コロナウイルス」感染への対応が、世界共通の課題となっています。時として、皆さんの将来には、今回のような想定を超える問題が幾度となく立ち上がるかも知れません。それに対峙し、果敢に挑戦していくしなやかで強い人間になって欲しいものです。自分の可能性を広げながら、未来を切り拓いていってくれることを心から願っています。「当たり前のことが当たり前にできる。相手を思いやることができる。そんな人になって下さい。そして、自らの手で未来を切り拓いて下さい。威風堂々と」卒業生の皆さんが、健康で幸多からんことを祈って、式辞とします。久米島西中学校 14期生の活躍を教職員一同応援しています。

令和3年3月7日

久米島町立久米島西中学校 校長 宮城肇



卒業式の写真



第12回那覇・浦添中学校春季 1・2年生バレーボール大会

3月13日(土)、14日(日)の両日、春季バレーボール大会が開催されます。1年生のチームですが、代表の部にもエントリーします。強豪校を見て、自チームに欠けているものをしっかり確認し、チーム作りに生かす良い経験になると思います。健闘を祈りましょう。

〔1年生の部〕

3月13日(土)

会場；那覇中学校

VS 仲西中と上山中の勝者 10:30(予)

〔代表の部〕

3月14日(日)

会場；那覇中学校

VS 上山中 9:30(予)

コート内で大きな声を出す。機敏な行動をする。この2つを当たり前のように、しっかり意識して頑張っていくことです。サーブは全部入れる。相手のミスで点数を取るのではなく、自分たちがスパイクなどを打ってきたいです。試合ができるのは当たり前のことだと思わず、親、チームメイト、コーチ、監督を含む色々な人に感謝し「1勝」をして恩返しをしたいです。緊張するけど、自分たちなり

の試合をしていきたいです。

1年1組 宮里玲

今回の大会は、1年生同士で戦うことでもあります。どんどんボールに突っ込んで、どのチームよりも声を出していきたいです。このチャンス逃さないように自分たちができることを全力で出し切りしたいと思います。代表の部もあるので、どんどんボールに触ります!!チームの目標に向かって全員で頑張りたいと思います!!

1年1組 橋内優笑

サーブを全部入れて、コート内での見合いがないようにする。声を出して、機敏な行動を心がける。みんなで力を合わせて1勝したい。

1年2組 宮下姫楠

私は、今回の大会で、「雰囲気崩さず、良い雰囲気を作って、大きい声を出す。」という基本的なことをしていきたいです。「サーブカットは上に上げる」と「サーブは必ず入れる」ということをしていきたいです。全員で力を合わせて頑張ります。

1年1組 上原 来愛

私はセッターをするので、雑にトスを上げるのではなく、丁寧にトスを上げ、ネットの打てる近くには上げないようにしたいです。また、2回目にお見合いをしないように声を出して行きたいです。

1年1組 宮城珠里

前回の大会では全敗だったので、今回の大会では絶対に相手負けないようにしたいです。また、アタックを1本でも多く打ってサーブを全部入れられるようにしたいです。お見合いもなくして簡単にボールを落とさないように皆で一生懸命最後まで頑張ります!!

1年2組 長峯彩心

私が今大会で頑張りたい事は、声出しをしっかりして、お見合いをなくし、サーブをしっかり入れる事です。前大会での良かった所、個人ではサーブを1本もミスらなかった事、チームでは1セット目の反省を活かし差を少しでも縮められた事です。改善点は、サーブカットでのミスが多かった事で、1本目をしっかり上に上げていきたいです。ブロックを飛んだりコート内、コート外からの声かけなど自分自身でできる事をしっかりとやり遂げ今回の大会は1勝したいです。

1年2組 赤嶺梨寿夢

今まで練習してきた事を生かして自分たちの「1勝する」という目標を達成できるようにします。まだ試合まで時間があるので、勝てる所は直して、皆で協力して試合に勝てるようにします。自分の目標は、声を出すことです。声を出せるように試合までもっと練習します。

1年2組 與那嶺結愛

みんなと協力し、良いプレーができるように声出しなどを頑張りたいし、1試合勝てるように楽しんで悔いのないプレイを皆としていきたいです。

1年2組 宇江城さくら

試合に出られたら、前回できなかったサーブカットをちゃんとできるようにしたいです。また、ローテーションちゃんと覚えきれていないので、試合までに覚えたいです。

1年1組 山城佳音

